

丸山行勝家文書目録と目録作成について

- 1 須坂市福島町の丸山行勝家は、幕末期に松代藩領福島村の名主ほか村役を勤めてきている。本史料群は、そのときに作成された文書を中心とする史料である。
- 2 本文書は、ご当主の了解を得て、須坂市への寄託が実現することとなっている。おかげさまで、市民に公開され閲覧できる日も近い。歴史研究に対する深いご理解とご当主の賢明な判断に対して感謝とお礼を申し述べたい。
- 3 本文書の最初期史料は、文政7年12月の宿方割増刂銭に関する史料で、それ以降明治29年の文書までの36点を目録として作成した。
- 4 これら現存する史料を「丸山行勝家文書目録」として、目録を作成した。『須坂市域の史料目録』の連番整理番号「053」（53番目）に位置づけ、史料番号は「053-A-1」から開始して、整理ラベルを貼付した。
文書目録は、原則として時系列により配置して作成した。
- 5 史料目録の作成に当たっては史料活用の便を考慮して、次のようにした。
 - (1) 史料名は、原則として史料中に記載された表題を記載したが、無表題史料には、(御用書留帳)のように()内に仮表題を作成して掲げた。
 - (2) 史料形態は、全文書が横帳であったので「横」と略記した。
- 6 本史料の整理と史料目録の作成は、須坂市編さん室の専門員丸山文雄がおこなった。

2012年4月5日

須坂市誌編さん室